名古屋市営交通事業経営計画2023

計画策定の趣旨

この計画は、経済状況や人口構造の変化などの社会経済情勢の動向をふまえつつ、今後想定される様々な課題に的確に対応しながら、より快適で便利な輸送サービスを提供していくため策定しました。

計画の理念

「新たなステージへ」

私たち名古屋市交通局は、安全最優先のもと、快適さ、便利さを積極的に高めることにより、誰もが安心して利用できる市バス・地下鉄を目指します。

計画期間

令和元年度から令和5年度までの5年間(収支計画は令和10年度までの10年間)

課題及び施策

主要課題

- ・安全の確保
- ・自然災害への備え
- 計画的な維持管理



施策 1

安全・安心の推進

重点施策

主な施策

- •ドライブレコーダーの機能強化
- •可動式ホーム柵の整備
- ・地下鉄構造物の耐震補強 など

- ・快適性の向上
- ・移動しやすい環境の整備
- ・誰もが利用しやす い環境の整備



施策2

快適・便利の向上

- ・地下鉄駅や駅構内トイレのリ ニューアル
- •バスターミナルの環境改善
- ・地下鉄駅ホームの冷房化の推 進 など

- ・まちづくりと連携した交通施設の整備
- ・効果的な利用促進策の展開



施策3

まちの活性化への貢献

- ・リニア中央新幹線の開業に向けた名古屋駅の整備
- ・主要駅の混雑緩和対策の検討
- •効果的な駅ナカ事業の展開 など

- ・人材の確保・育成
- ・経営基盤の強化



施策4

安定した運営基盤の確立

- •制服の機能性向上
- •資産の有効活用
- ・広告料収入の確保 など

計画の進捗状況

令和3年度の決算見込において、1日当たり乗車人員及び収支状況は、新型コロナウイルス感染症の 影響により、市バス・地下鉄とも計画目標を下回りました。



市バス事業

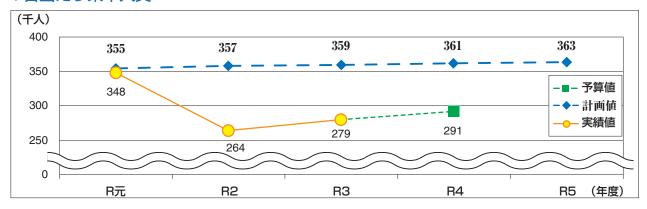
計画目標

- ・令和5年度に1日あたり 36万人の乗車人員
- ・経常収支の黒字を確保
- ・ 債務超過を解消

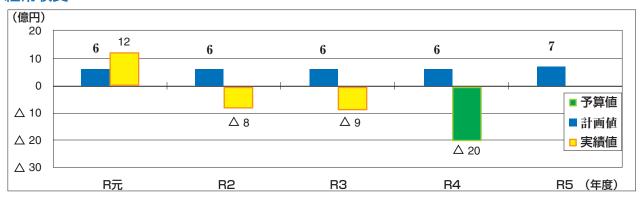
計画目標と決算(見込)の比較

区分	令和3年度 計画目標(A)	令和3年度 決算(見込)(B)	差引(B-A)
1日当たり乗車人員	359 千人	279 千人	△80 千人
経常収支	6 億円	△9 億円	△15 億円
債務超過額	_	_	_

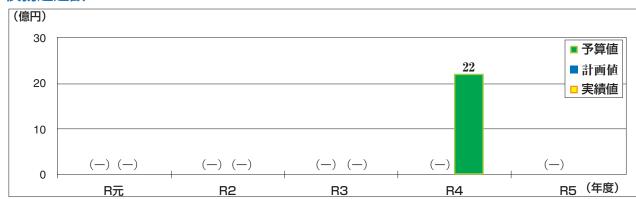
1日当たり乗車人員



経常収支



債務超過額





地下鉄事業

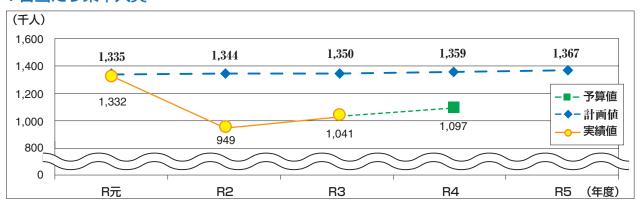
計画目標

- ・令和5年度に1日あたり137万人の乗車人員
- ・実質資金不足額を平成30年度 比で840億円以上削減
- ・累積欠損金を平成30年度比で 600億円以上削減

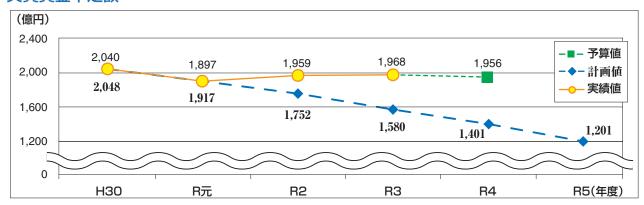
計画目標と決算(見込)の比較

区分	令和3年度 計画目標(A)	令和 3 年度 決算(見込)(B)	差引(B-A)
1日当たり乗車人員	1,350 千人	1,041 千人	△309 千人
実質資金不足額	1,580 億円	1,968 億円	388 億円
累積欠損金	1,790 億円	2,119 億円	329 億円

1日当たり乗車人員



実質資金不足額



累積欠損金

